- $egin{aligned} G & \mbox{四面体 }OABC \mbox{ において },4\mbox{ つの面はすべて合同であり },OA=3\mbox{ },OB=\sqrt{7}\mbox{ },\\ AB=2\mbox{ であるとする }.\mbox{ また },3\mbox{ 点 }O\mbox{ },A\mbox{ },B\mbox{ を含む平面を }L\mbox{ とする }. \end{aligned}$
- (1) 点 C から平面 L におろした垂線の足を H とおく .  $\overrightarrow{OH}$  を  $\overrightarrow{OA}$  と  $\overrightarrow{OB}$  を用いて表せ .
- 0 < t < 1 をみたす実数 t に対して,線分 OA,OB 各々を t: 1-t に内分する点をそれぞれ  $P_t$ , $Q_t$  とおく.2 点  $P_t$ , $Q_t$  を通り,平面 L に垂直な平面を M とするとき,平面 M による四面体 OABC の切り口の面積 S(t) を求めよ.
- (3) t が 0 < t < 1 の範囲を動くとき , S(t) の最大値を求めよ .